

伊豆の国市立長岡北小学校学校だより

菜の花

令和7年度 学校だより
～よりよくかわり よさを発揮できる子～

令和7年6月号
文責 山口麻和

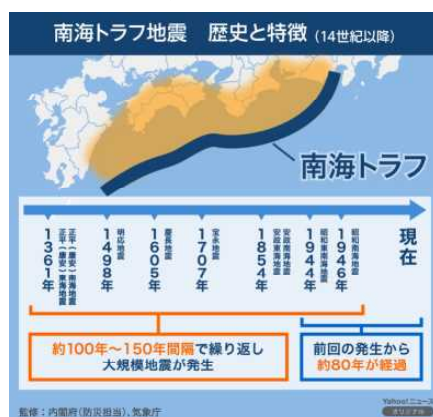
「今まで経験したことがない…」

「今まで経験したことがない〇〇〇」という言葉を耳にすることもめずらしくなってきたように思います。例えば、テレビやラジオなどで「〇〇県〇〇市では、今まで経験したことのないような大雨で災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保してください…」 「〇〇地方では、台風〇号が接近し、雨・風が今まで経験したことのない警報レベルになるところがあります。台風〇号は動きが遅く、場合によっては影響が長引く恐れがあります。特に雨の量が多くなり、これまでに経験のない雨量となる恐れがあります…」等々です。

とても自然災害の多い国が日本です。岩手県大船渡市で発生した森林火災は記憶に新しく、地震による津波、大雨による洪水や土砂崩れなど人ごとではありません。常に危険と隣り合わせという意識を持つことは、決して大げさなことではないかもしれません。

右図は、南海トラフ地震の歴史と特徴を表したものになります。約100年～150年間隔で繰り返し大規模地震が発生していると言われ、前回の発生から約80年が経過していることから危機感が高まってきていることなどは知識として大変重要です。

5月21日（水）には、「南海トラフ地震に関する臨時情報の発令」を想定した引き渡し訓練を行いました。担任の指示で運動場に避難、子どもたちはご家族のお迎えにホッと笑顔を見せておりました。



自然災害はいつ起こるのか予測はできません。

- ・学校にいるときかもしれません…。
- ・登下校中かもしれません…。
- ・家にいるときかもしれません…。
- ・寝ているときかもしれません…。



事前に備蓄品や食料を用意したり、倒れやすい家具の固定をしたり、倒れやすいものの近くには寝ないようにすること、ご家庭で「避難場所」はどこにするのかなどを決めておくのも備えとして大切なことだと思います。そして、いざ災害が起こったときに一人ひとりが「今できる精一杯」のことを考え判断し、自分で自分の命を守る力を身につけていくことが、いちばんの備えになると思います。

また、この時期から「過去に例のない暑さ」「今まで体験したことのない猛暑日」といった言葉を耳にするようになります。学校では、すでに20分休みや昼休みの外遊びの実施を中止した日があります。登下校を含む暑さ対策が必要となります。学校でも指導していきますが、ご家庭でも注意することについて話題にしてみてください。

～自分でも熱中症対策…。もう一度確認しよう！～

- ・登下校の際は、帽子・日傘を着用しよう。
 - ・こまめに水分補給をしよう。
 - ・ネッククーラーや冷感タオルを推奨します。
 - ・塩分補給用タブレットを必要な分だけ持参し、帰りの会後に補給。
 - ・ハンディファンは、危険性を十分に理解し使用しよう。
- ※発火の恐れ…、髪の毛を巻き込む…、両手がふさがり危険…など
- ・体調の変化は、すぐにまわりの友達や先生に伝えるようにしよう。

夏バテ注意



～学校教育目「よりよくかわり よさを発揮できる子」～

子供たちは、多くのかかわりから成長しています。長岡北小学校の教育活動から、子供たちのたくさんの笑顔が見られます。

学校生活での相談や困りごとなど、小さなことでも結構ですので担任にお知らせください。担任に話しづらい場合は生徒指導担当や教頭が承ります。

【長岡北小学校】Tel 055-948-1062 学校携帯 070-2243-0666

